

案件化調査

バングラデシュ国 太陽光発電および無線通信を活用した 河川監視カメラシステムによる水防災対策事業に係る案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社イトラスト
- 提案企業所在地：新潟県長岡市
- サイト・C/P機関：バングラデシュ国ダッカ及びシレット・Flood Forecasting & Warning Centre

バングラデシュ国の開発課題

サイクロンや洪水などの水害に対する脆弱性

- バングラデシュ国は3つの国際河川による沖積地
- 雨季には洪水が頻繁に発生し、国土の約25%が浸水し、住居や商工業地域、稲作地域が被害を受けている。
- 洪水対策はバングラデシュ国の開発計画内で中心的に取り上げられているが、監視機器導入費用やメンテナンスの問題から整備が進んでいない

中小企業の技術・製品

太陽光発電・無線通信を用いた河川監視カメラシステム

- クラウド型静止画像監視スマートカメラ：インターネットを通じた画像とデータによる河川のリアルタイム監視が可能。
- これから電化される地域に設置でき、導入及びメンテナンスが容易。低コストに運用可能。
- 長岡市や三条市など、日本国内自治体で導入実績あり。

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 「民間提案型普及・実証事業」を通じ機材供与を行うと共に、機材運用・保守等の技術転用を行う。
提案案件①：メグナ川上流域における河川監視モデル事業
提案案件②：ティスタ川流域における灌漑用水路監視モデル事業
- 期待される効果：
 - * 河川・灌漑用水路監視能力強化による、洪水時の人的及び経済被害の低減
 - * 対象地域の社会脆弱性の克服と経済開発への寄与

日本の中小企業のビジネス展開

- 公共事業等、相手国政府・自治体に河川監視事業を展開。
- 工事現場、防犯、環境、交通、農場など、河川以外の監視システムニーズを開拓し、民間企業への販売事業を展開。